

代表質問(要旨)



議員 長谷川 修平 進 市 立 一括方式

知事の情報発信

議員 本県の県づくりに、六期目の全国最多のベテラン知事としての情報発信力を期待している。知事は、自身の情報発信についてどう考えているのか。

知事 県産品のトップセールスを精力的に継続した結果、常陸牛が全国ブランドに成長したり、駐日ベトナム大使と良好な関係を構築した結果、国家主席の来県など、活発な交流に発展した。今後、G7茨城・つくば科学技術大臣会合や茨城国体など、国内外に本県をアピールする絶好の機会を迎えており、オール茨城で情報発信に取り組んでいく。



議員 井手 義弘 明 市 立 一括方式

大規模太陽光発電施設建設に係るガイドラインの策定

議員 大規模太陽光発電施設の無秩序な乱立には一定のルールを定めるべきであり、施設建設に係る県独自のガイドラインを策定すべきと考えるが、所見は。

知事 今後、立地を避けるべきエリアなどの指定や適正な維持管理などの項目を盛り込んだガイドラインを策定し、太陽光発電事業の適切な実施に向け対応

医療体制の充実

議員 県北地域の住民が安心して生活できるよう医師・看護師不足の解消など、医療体制の一層の充実を図ってほしい。どのように対策を講ずるのか。

知事 医師確保対策については、関係大学や地元市町村との連携のもと、指導医の確保を進め、地域の主要医療機関が後期研修プログラムの基幹病院や連携病院になれるよう努める。また、看護師確保対策については、昨年十月にスタートした離職時届出制度を活用しつつ、再就業対策を積極的に講じていく。

エネルギー資源の活用

議員 県北地域の振興策として、再生可能エネルギーや水素エネルギーなどの新エネルギーを活用した電源開発を考えるべきであるが、所見は。



3月に供用開始されたLNG基地(茨城港日立港区)

知事 再生可能エネルギーについては、地域社会との共生を図りながら進めていく。また、水素による実証試験施設の整備については、情報を収集していく。将来、天然ガスや水素による電源開発が具体化する際は、県北地域は有力な候補地の可能性があり、今後の動向を注視する。(ほかに、同一労働同一賃金、豊かな教育の実現なども質問)

被災自治体を支援する体制(総務、福祉医療のタスクフォース)の整備

議員 大規模災害発生時には、被災自治体を支援する体制(総務、福祉医療のタスクフォース)を整備が重要であると感じているが、所見は。

知事 総務分野に関しては、業務に精通している人材を募集して登録し、災害時に派遣する仕組みを整備していく。医療福祉分野については、災害派遣精神医療チーム(DPAT)の体制の充実や関係団体との連携を図り、引き続き、多職種連携によ

茨城県北芸術祭の成功に向けた取り組み

議員 県北振興の目玉施策である茨城県北芸術祭に関して、「全体の予算規模」、「来場者数の目標」および「パスポート形式の入場券の販売時期および価格」は、また、今後の定期的な開催についての所見は。

知事 全体の予算規模は六億七千万円程度を見込んでおり、来場者数は約三十万人を当面目指していきたい。パスポート形式の入場券はおおむね二千円台とし、七月初旬の販売開始を予定している。定期的な開催については、今回実施した成果や課題



設置が進む太陽光発電施設

などを踏まえ、判断していく。(ほかに、「ソーシャル・インクルージョン」の考え方を踏まえた県政施策、東海第二発電所の再稼働なども質問)



議員 白井 平八郎 自民県政クラブ 結 市 立 一括方式

茨城空港のさらなる飛躍を目指す今後の取り組み

議員 茨城空港の将来を見据え、今後、国際路線の誘致や空港施設の機能強化にどのように取り組んでいくのか。

知事 国際線は現在の三路線に加え、Vエアの台北便と春秋航空の揚州經由成都便が就航し、三月末には二十一便まで増加する見込みである。東南アジアの国々で県内観光地を周遊するツアーも急増しつつあることから、チャーター便の運航支援を行うなど、路線の誘致に力を入れていく。空港施設は、当面は現在の施設をできる限り柔軟に運用しながら最低限必要な施設を確

保していく。ターミナルビルの将来構想は今後の需要動向を見極め慎重に検討していく。本県への本社機能移転などの推進

議員 本県への本社機能の誘致に向けて、どう取り組むのか。

知事 国の地方拠点強化税制では対象外となる十市町についても優遇措置を講じ、全国でもトップクラスの優遇措置を定める。また、日立や鹿島の産業集積やつくばの高度な都市基盤など、地域の特性を最大限に生かした誘致活動を展開するとともに、新たな優遇制度を活用しながら本社機能の誘致を図っていく。

つくばに集積した科学技術を活かした科学教育

議員 県内の全ての児童生徒に対して、つくばにおける科学技術に接する機会を設けるべきと考えるが、どう取り組むのか。



Vエア就航セレモニーの様子

教育長 つくばの研究機関と連携して開発した中学生向け理科教材を授業に活用している。研究機関と連携した取り組みを、多くの学校で実施できるように働き掛ける。また、つくばの研究施設などを見学できる取り組みをHPで紹介し、小中学校の校外学習や遠足、家族での参加など利用促進を呼び掛けている。(ほかに、畜産分野のTPP対策、自動車盗対策なども質問)

県議会を傍聴しませんか

本会議は、県議会議事堂5階の受付で住所と氏名を記入すると傍聴できますので、是非お越しください。また、児童および乳幼児連れの方は、県議会議事堂1階の議会PRコーナーと5階の傍聴者ロビーおよび行政棟2階の県政シアターで本会議の中継をご覧ください。なお、授乳室やおむつ替えスペースをご希望の方には部屋をご用意いたしますので、職員にお気軽に声をお掛けください。その他、手話通訳や委員会の傍聴など詳細については、県議会議務局議事課にお問い合わせください。



【お問い合わせ先】
電話 029-301-5634